

\*参加費の記載のないものは入館料のみで参加可能。

## 1. 普及事業

### A. なつやすみ段ボール工作コーナー

実施日：8月17日・8月24日(土)

参加者数：こども121名+保護者118名=合計239名

対象：幼児～小学校6年生(小学校3年生までは保護者同伴)

概要：梱包資材であるダンボールで自分だけの機関車・トラック・貨物船を制作。

参加費：材料費100円(入館料別途)

### B. 学生向け体験講座「美術品の梱包・入門(陶器)編」

実施日：8月9日(金)(午前・午後全2回)

参加者数：32名

概要：梱包の専門家を講師に招き美術品梱包の初歩を体験するもの。日本通運(株)美術品事業部協力。博物館学芸員資格を取得中の大学生や、博物館関係者などが参加。陶器の梱包体験のほか美術品専用車を見学。

参加費：700円(入館料含む)

### C. 古文書講座「古文書を楽しむ～古文書講座初級編～」

実施日：7月13・20・27日の土曜日(全3回)

参加者数：のべ67名

概要：典型的なくずし字の読み方や、江戸時代の古文書のパターンに触れて、楽しみながら古文書に親しむ講座。

講師：学習院大学非常勤講師 田中潤先生

参加費：500円(1回毎、入館料含む)

### D. 古文書講座「三井越後屋の飛脚問屋～越後屋孫兵衛・奈良物屋三右衛門関係史料をよむ～」

実施日：10月5日・19日、11月2日・16日・30日の土曜日(全5回)

参加者数：のべ121名

概要：物流に関する歴史について、古文書の解説を行いながら解説する講座。今回取り上げた史料は、三井文庫に残る飛脚関係史料。飛脚問屋の由緒、経営状況、輸送料金の変遷や輸送事故に関する史料を読み解き、江戸時代の飛脚問屋について解説。

講師：歴史研究家 巻島隆先生

参加費：500円(1回毎、入館料含む)

### E. マンスリー上映会

概要：当館では昭和20年代～50年代の物流に関する映画フィルムを収蔵しており、平成28年度までに約100本に及ぶ記録映像のデジタル化を完了した。これらの中から作品を選び、平成29年度から上映会を毎月1回開催。

参加者数：のべ358名

実施日・上映作品：

①5月26日(日)

「物のながれ」「躍進する日本通運」「この変貌の日に」

②6月23日(日)

「荷役近代化への道ー現場人はいかに闘ったかー」「新しい包装」「荷役は変わるー第四集 システム化への道ー」

③7月28日(日)

「アイソマックスリアクター輸送の記録」「自走する超大型ドーリ」「モジュール輸送・据付システム」

④8月25日(日)

「国宝の旅立ち」「夢と心を未来に運べ！～受け継がれる日通美術の技～」

⑤9月22日(日)

「こうして米は運ばれる」「日通便」CMほか3作品(昭和30年代CM特集)「世界にひろがるー日本通運の海外ネットワークー」

⑥10月27日(日)

「荷役はかわるー通運のパレット作業ー」「荷役はかわる 第2集」

⑦11月24日(日)

「アフリカ10,000キロ」「灼熱の大地でー日通 IJPC の記録」「ニューヨーク転勤命令ー日通の海外引越ー」

⑧12月22日(日)

「富士をいだく」「日通伊豆富士見ランド」「花ひらく日本万国博 EXPO'70」

⑨1月26日(日) テーマ：「シキ車」特集

「380トンジンボール」「68の車輪」「超重量に挑むー500トントレーラとシキ611ー」

⑩2月23日(日) テーマ：「巨大変圧器の輸送」

「300トントレーラー」「ひとすじの道ー160トン変圧器を運ぶー」

⑪3月22日(日)

「欧米の貨物輸送作業」「トレーラーとのせかえ車」「荷役はかわる 第三集 ユニット・ロード システム」

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に伴い中止。

### F. クリスマス・サンタクロース映画会

概要：プレゼントを「運ぶ」サンタクロースをテーマにした映画を2本上映し、サンタがこどもたちにプレゼントを贈呈。

実施日：12月14日(土)(午前・午後全2回)

参加者数：こども33名+保護者28名=合計61名

対象：幼児～小学校とその保護者

### G. 博物館学芸員実務実習の受入

実施日：8月3日(土)～4日(日)/7日(水)～12日(月・祝)/15日(木)/17日(土)の10日間  
受入人数：5名(お茶の水女子大学、鶴見大学、東京農業大学、日本大学通信教育部、立教大学各1名)

概要：大学で博物館学芸員資格取得を目指す学生の実務実習の受入。展示実習では1階「物流の歴史」展示室の河川交通の展示を改良、「江戸を巡る河川交通」と題してコーナー展示を行った。

### H. 高輪伝馬の会

概要：高輪伝馬の会は、平成15年(2003)11月に発足した自主的な勉強会。令和元年度も引き続き毎月第1・3土曜日に当館を会場として開催(3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に伴い休会)。

参加者数：のべ79名

開催回数：19回

## 2. 企画展

### ミニ企画展「さようなら シキ800」

会期：1月26日(日)～3月29日(日)(52日間)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月7日(土)から臨時休館に伴い今年度中の会期日数は33日間。

今年度中入館者数：1,171名

概要：長らく重量品輸送に携わってきた日本通運(株)では、大型変圧器等を鉄道輸送するためにシキ車という貨車(大物車)を所有している。このうち、昭和48年(1973)から46年間にわたり運用されたシキ800が、令和元年(2019)11月をもって引退し、これを記念して京都鉄道博物館にて車両特別展示が行われた。本展では、京都で展示されたパネルやシキ800の最終輸送関係映像のほか、実際に使用された車票、他のシキ車の写真プレート、模型によりシキ車的一端を紹介。

## 関連事業

①1月マンスリー上映会

テーマ：「シキ車」特集

実施日：1月26日(日)

参加者数：107名

②2月マンスリー上映会

テーマ「巨大変圧器の輸送」

実施日：2月23日(日)

参加者数：70名

③見逃し上映会(1・2月マンスリー上映会の再上映)

予定日：3月7日(土)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に伴い中止。

## 3. 共催事業

### A. 講演会「アメリカにおけるフルハーフ・トレーラーの歴史」

共催団体：日本フルハーフ株式会社

後援：産業考古学会・東京産業考古学会

実施日：5月17日(金)

参加者数：58名

概要：米国におけるトレーラーの老舗企業、フルハーフ社の創業者の孫にあたるルース・アン・フルハーフ氏による、アメリカ・フルハーフ社の歴史についての講演。

講師：ルース・アン・フルハーフ(Ruth Ann Fruehauf)氏

参加費：事前予約者は入館料も無料

### B. 講座「内航船ペーパークラフトを作ろう！」

共催団体：日本内航海運組合総連合会

実施日：8月10日(土)(午前・午後全2回)

対象：小学校6年生までとその保護者

参加者数：こども35名+保護者28名=合計63名

概要：くらしと産業に欠かせない貨物を多く運んでいる内航船についての解説を聞き、貨物船のペーパークラフトを製作。

講師：オトウカトウ氏(工作ユニット)

## 4. その他

### A. 京都鉄道博物館 車両特別展示(シキ800)に展示協力

実施日：11月16日(土)～11月24日(日)

主催：日本貨物鉄道株式会社・京都鉄道博物館・日本通運株式会社

会場：京都鉄道博物館

概要：2019年11月をもって運用終了を迎えた日本通運(株)所有の大物車シキ800を展示するにあたり、車両や大物車についての紹介パネルの原稿執筆及び写真を提供。

### B. 臨時休館

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月7日(土)より6月1日(月)の期間を臨時休館とした。

以上